

ごあいさつ

今年の日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会秋季大会は中部ブロックの担当で令和7年11月22日（土）・23日（日）に横浜国際平和会議場（パシフィコ横浜会議センター）で開催いたします。本年度も利便性を考慮して、現地参加およびオンライン参加のハイブリッド形式開催に向けて準備を進めています。

プログラムは副大会長の曾根三千彦教授（プログラム委員長）、堀井 新教授（実技講習委員長）、藤本保志教授（専攻医講習委員長）をはじめ、日耳鼻学術委員会と連携して作成しました。今年の日耳鼻秋季大会では例年同様に専門医講習、専門医実技講習、専攻医講習、専攻医実技講習、補聴器相談医の委嘱および更新のための講習、そして日本臨床耳鼻咽喉科医会セッションも合同で開催します。シンポジウムとして耳鼻咽喉科・小児科・産科、三位一体で取り組む難聴児支援に関するシンポジウムを1題企画しました。パネルディスカッションも3題企画しました。そのうちの一つはTEAMS事業です。今年は多学会連携による「嚥下障害対策の普及活動」とシンポジウム同様に学会横断的なテーマとしました。そして、「患者に寄り添う耳鼻咽喉科診療」および「睡眠学の進歩と耳鼻咽喉科医の対応」と題したもう二つのパネルディスカッションにおいても耳鼻咽喉科頭頸部外科以外の専門家を加えたパネリスト構成としました。耳鼻科医以外の多方面から視点を組み込むことで社会的に重要視されている課題への理解、洞察を多層的に深めていただければと考えています。

専門医共通講習では2022年以降に専門医となった方々にとって受講が必要である医療制度と法律、地域医療、医療福祉制度、医療経済、臨床研究・臨床試験、も準備しました。専攻医講習はこれまで通り7つのテーマ別講演と3つの専門認定試験過去問解説を、そして6テーマ7枠の実技講習を企画しました。カリキュラム制からプログラム制になり、試験様式も記述式からMCQ連問になり、時代とともに専門医認定制度も変化しています。来年受験者の皆様は元より、専攻医なりたての皆様にもご参加いただければと思います。

昨年の秋季大会から秋季大会に加わった二つの企画、すなわち、オールジャパンプロジェクト、ACジャパンセッションは今年も企画に盛り込みました。耳鼻咽喉科・頭頸部外科のプレゼンスを上げるための学術・研究から社会実装への道筋、すなわち、将来を見据えた日耳鼻主導のオールジャパンプロジェクトセッション、ACジャパンの難聴啓発キャンペーンに関するセッション、いずれも専門医領域講習として開催します。

今年の秋季大会はデフリンピック競技大会会期中、すなわち聴覚に関する関心が日本だけでなく世界中で高まっている最中での開催です。難聴、補聴関係の知識、理解、技能を深めることに加え、アスリートたちに横浜からエールを送るべく多くの先生方の現地へのご参集を心からお待ちしています。

一般社団法人 日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会

理事長 大森 孝一

第39回日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会秋季大会

大会長 吉崎 智一

（金沢大学医学系 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学教授）

第39回日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会秋季大会

実行委員会構成

大 会 長	吉崎 智一 (石川)		
副会長(プログラム委員長)	曾根三千彦 (愛知)		
副会長(実技講習委員長)	堀井 新 (新潟)		
副会長(専攻医講習委員長)	藤本 保志 (愛知)		
補聴器相談医講習委員長	内田 育恵 (愛知)		
臨床医会セッション委員長	麻生 伸 (富山)		
監 事	村上 信五 (愛知)		
プログラム委員会	蒲谷嘉代子 (愛知)	小林 正佳 (三重)	近藤 悟 (石川)
	高林 哲司 (福井)	西尾 直樹 (愛知)	馬場 洋徳 (新潟)
	増田佐和子 (三重)	吉田 忠雄 (愛知)	吉村 豪兼 (長野)
実技講習委員会	泉 修司 (新潟)	岩田 義弘 (愛知)	植木 雄志 (新潟)
	上野 貴雄 (石川)	讃岐 徹治 (愛知)	柴田 博史 (岐阜)
	森田 由香 (富山)	若杉 亮 (新潟)	
専攻医講習委員会	川北 大介 (愛知)	中村 宏舞 (愛知)	
庶務委員会	<u>小川 武則 (岐阜)</u>	能田 拓也 (石川)	森 健一 (岐阜)
財務委員会	<u>藤枝 重治 (福井)</u>	坂下 雅文 (福井)	堀川 勲 (石川)
会場・展示委員会	<u>楯谷 一郎 (愛知)</u>	石永 一 (三重)	遠藤 一平 (石川)
	瀧澤 義徳 (静岡)	吉岡 哲志 (愛知)	
テキスト委員会	<u>岩崎 真一 (愛知)</u>	加藤 久幸 (愛知)	北村 守正 (石川)
	讃岐 徹治 (愛知)	志賀 英明 (石川)	高倉 大匡 (富山)
	工 穰 (長野)	三澤 清 (静岡)	
懇親・懇談委員会	<u>三澤 清 (静岡)</u>	小原奈津子 (岐阜)	加納康太郎 (静岡)
	喜多 淳哉 (静岡)		
広報委員会	<u>工 穰 (長野)</u>	岡本 昌之 (福井)	鬼頭 良輔 (長野)
	酒井 あや (石川)	高橋 剛史 (新潟)	森部 一穂 (愛知)
	吉岡 哲志 (愛知)		
オンライン運営委員会	<u>岡野 高之 (愛知)</u>	岩田 義弘 (愛知)	
補聴器相談医講習委員会	白井 智子 (三重)	奥田 弘 (岐阜)	菅 太一 (愛知)
	杉本 寿史 (石川)	柘植 勇人 (愛知)	藤坂実千郎 (富山)
臨床医会セッション	大滝 一 (新潟)	廣瀬みずき (石川)	松岡 徹 (愛知)
	森 芳郎 (岐阜)	山形 和彦 (愛媛)	

下線部：委員長 (): 所属地方部会

お知らせ

I 受講される方へ

第39回日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会秋季大会は、現地開催を行うとともに、オンライン開催も併用したハイブリッド形式で開催いたします。

参加形態により会期および受講可能な講習が異なりますため、下記のご案内をよくご確認ください。

1. 会期

- 1) 現地開催：2025年11月22日（土）～23日（日）
 - ・実技講習、専攻医実技講習、補聴器相談医委嘱（新規取得）のための講習は現地参加のみとなります。
- 2) オンデマンド配信：2025年12月17日（水）正午～2026年2月10日（火）正午
 - ・シンポジウム、パネルディスカッション、医療安全セミナー、耳鼻咽喉科領域講習、専攻医講習、共通講習、補聴器相談医更新のための講習、日本臨床耳鼻咽喉科医会セッションは、オンデマンド配信予定です。
 - ・実技講習、専攻医実技講習、補聴器相談医委嘱（新規取得）のための講習はオンデマンド配信で受講はできませんのでご注意ください。
- 3) ライブ配信はありません。

2. 参加登録と参加方法

- 1) 参加費 会場での当日参加受付は行いませんのでご注意ください。

種類	参加費（税込）	備考
秋季大会	18,000円 ※1	現地参加とオンライン参加共通の金額です。 専攻医講習受講希望の方も秋季大会の参加登録をお済ませください。テキスト代を含みます。
専門医実技講習 *事前申込必須 (10月22日正午まで)	1,000円（1コマ） ※2	現地開催のみで、オンライン開催はございません。
専攻医実技講習 *事前申込必須 (10月22日正午まで)	無料	現地開催のみで、オンライン開催はございません。
補聴器相談医講習 *現地参加者は事前 申込必須 (10月22日正午まで)	委嘱（新規取得）のため の講習 10,000円	現地開催のみで、オンライン開催はございません。
	更新のための講習 3時間：4,000円 6時間：8,000円	現地開催とオンライン参加共通の金額です。

※1 医学生、臨床研修医は参加費無料となります。

※2 手術用モデルを使用する実技講習（13・14・15・19・20・26・27）は別途モデルの実費相当額をご負担いただきます。

2) 参加登録期間

- ① 8月19日（火）正午～10月22日（水）正午
テキスト集・ネームカード：事前発送
- ② 10月22日（水）正午以降～2026年2月10日（火）正午
テキスト集：順次発送予定
ネームカード：現地参加の場合は、当日会場でお受け取りください。

3) 参加登録・参加方法

- ・日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会会員マイページから参加登録を行ってください。
- ・医学生、臨床研修医は、所属長の署名・押印のある在職証明書をメールで運営事務局（shukitaikai39@c-linkage.co.jp）にご提出ください。証明書のフォーマットは大会ホームページの「参加登録」ページよりダウンロードが可能です。

※実技講習・補聴器相談医講習の事前申し込みも会員マイページからのオンライン登録となります。

※お支払い方法は、クレジットでのオンライン決済のみです。

申込み・お支払い後のキャンセル・返金はいたしかねますので、あらかじめご了承ください。

【現地参加】

- ・10月22日（水）正午までに参加登録された方には、ネームカードとテキストを事前に郵送いたします。
なお、紛失等による学会会場での再発行は一切いたしませんので、お忘れなくお持ちください。
ネームカードをお忘れになった場合は、総合案内へお越しください。
- ・10月22日（水）正午以降に参加登録をされ、現地参加される方には、会場にて参加受付完了メールのご提示と引き換えにネームカードをお渡しします。テキスト集は10月下旬より順次発送予定となります。
- ・ネームカードケースは現地でお渡しいたします。

【オンライン参加】

- ・参加登録完了時のメールにオンライン参加（オンデマンド視聴 ID およびパスワード）を記載しております。大会ホームページに掲載予定の「オンデマンド配信のご案内」からオンデマンド配信サイトにログインしてご参加（視聴）ください。

3. 日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会会員カード（IC カード）の出欠受付について

「日耳鼻ナビ（アプリ）」、もしくは、「日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会会員カード（IC カード）」の登録は、全会員が対象です。なお、「日本耳鼻咽喉科学会認定耳鼻咽喉科専門医証（旧カード）」は使用できません。

1) 現地参加の場合

① 専門医

事前にお送りしましたネームカードを着用いただいた上で、総合受付で「日耳鼻ナビ（アプリ）」、もしくは「日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会会員カード（IC カード）」にて受付を行ってください（参加登録が完了していても会員受付は必要です）。

② 専攻医

総合受付で「日耳鼻ナビ（アプリ）」、もしくは「日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会会員カード（IC カード）」の受付を行うことで、会員マイページに参加履歴・受講履歴が残ります。2020年度以降に研修を開始した専攻医は、日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会総会・学術講演会と日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会秋季大会に各1回以上の参加が必要です。

【受付日と受付時間】

受付日	日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会会員カード (IC カード) の受付時間	受付場所
11月22日 (土)	8:00~18:00	パシフィコ横浜 会議センター 2F エントランスホール
11月23日 (日)	8:00~15:00	

※日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会会員カード (会員 IC カード) をお忘れの場合は、総合受付にて仮 IC カードを発行 (デポジット制2,000円) いたします。現地開催終了後の仮カードの返却についてはデポジット返金いたしかねますので、必ず会場で返却をお願いいたします。

2) オンライン参加の場合

オンデマンド配信期間中にご自身のオンデマンド視聴 ID およびパスワードでオンデマンド配信サイトへ1回以上ログインしてください。

4. 単位付与講習について

単位は、現地参加もしくはオンデマンド配信視聴履歴をもって付与いたします。

現地参加の場合は必ず講習会入退場時に会場出入口のカードリーダーで日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会会員カード (会員 IC カード)、もしくはアプリの QR コードの読み取りを行い、登録を確認してください。

講習	更新単位取得		受付方法など
	耳鼻咽喉科専門医	補聴器相談医	
①専門医共通講習 ※事前申込み不要	共通講習各1単位 (上限なし)		学会参加登録の受付を参加受付で済ませた後、入室ならびに退出時に、「日耳鼻ナビ (アプリ)」もしくは、「日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会会員カード (IC カード)」の受付を行ってください。 講習開始5分以降に入場すると単位が取得できません。
②領域講習 ※事前申込み不要	領域講習各1単位 (②③で上限8単位)		
③実技講習 ※事前申込み必須	領域講習各1単位 (②③で上限8単位)	実技講習22, 23は補聴器相談医1単位が取得できます。ただし、2コマを受講しても1単位しか付与されません。	
④補聴器相談医講習 (更新のための講習) ※事前申込み必須		(3時間受講) ※講義1~5もしくは 講義6~8 補聴器相談医1単位	
		(6時間受講) ※講義1~8 補聴器相談医2単位	

《各講習の単位付与について》

途中入場・途中退出の場合は、単位付与の対象となりませんのでご注意ください。

《日耳鼻アプリでの単位取得》

- ・現地来場の方に限り、スマートフォンアプリ「日耳鼻アプリ」での単位セッション出席登録が可能となりました。
- ・詳細につきましては第39回秋季大会のホームページをご確認ください。

1) 専門医

① 専門医共通講習：現地参加またはオンデマンド配信の視聴で受講が可能

専門医更新に必須の専門医共通講習は、医療安全、感染対策、医療倫理の講習です。

加えて、2022年度以降に認定された専門医は、医療制度と法律、地域医療、医療福祉制度、医療経済、両立支援の講習が新たに必須になります。

下記のセッションも専門医共通講習1単位の対象です。

- ・医療安全セミナー2（医療安全）

11月23日（日）第3会場 8：30～9：30

- ・第6回日本臨床耳鼻咽喉科医会セッション1（臨床研究・臨床試験）

11月23日（日）第2会場 9：45～10：45

※オンデマンド配信で受講する方は、専門医共通講習を最後まで視聴（早送りは不可）し設問に回答（正解するまで繰り返し回答可能）することで単位が取得できます。

② 領域講習：現地参加またはオンデマンド配信の視聴で受講が可能

領域講習と実技講習（現地開催のみ）を合わせて、耳鼻咽喉科領域講習を8単位まで取得できます。

専門医だけでなく、専攻医や非専門医も受講することは可能です。

下記のセッションも耳鼻咽喉科領域講習1単位の対象です。

- ・シンポジウム

11月23日（日）第1会場 8：30～10：00

- ・パネルディスカッション1

11月22日（土）第1会場 16：20～17：50

- ・パネルディスカッション2

11月23日（日）第2会場 8：30～9：30

- ・パネルディスカッション3

11月23日（日）第3会場 10：55～11：55

- ・医療安全セミナー1

11月22日（土）第1会場 14：05～15：05

- ・第6回日本臨床耳鼻咽喉科医会セッション2

11月23日（日）第2会場 10：55～11：55

- ・オールジャパンで取り組む研究・臨床・実用化セミナー

11月22日（土）実技室8 14：05～16：05

※現地参加登録とオンデマンド配の視聴をあわせて上限8単位までの取得となりますので、ご注意ください。

※オンデマンド配信で受講する方は、領域講習を最後まで視聴（早送りは不可）することで単位が取得できます。

※実技講習は現地開催のみとなりますので、オンラインで受講することはできません。

③ 実技講習：現地開催のみ、事前申込制（費用1コマ 1,000円）

- 1) 2日間にわたり会場にて27の実技講習のプログラムを設けています。いずれも領域講習（各1単位）の対象となるプログラムです。領域講習と実技講習を合わせて耳鼻咽喉科領域講習を8単位まで取得できます。専門医だけでなく、専攻医や非専門医も受講することができます。

「補聴器調整と補聴器適合検査（1）」「補聴器調整と補聴器適合検査（2）」の受講で、補聴器相談医の更新のための1単位を取得できますが、（1）と（2）の両方を受講しても付与されるのは1単位のみ

となります。

- 2) 10月22日（水）正午までに受講申込みをされた方：事前に送付（ネームカードに付随）いたします。「実技講習受講票」をお持ちいただき、各実務室前の受付にお越しください。
10月22日（水）正午以降に受講申込みをされた方：当日の受付方法について、会期前にメールにてご案内いたします。
- 3) 実技講習開始15分前より受付を開始します。
- 4) 当日のキャンセル待ちは行いませんのでご了承ください。
- 5) 途中入場はできません。
- 6) 実技講習は1人2コマまで参加できます。
- 7) 手術用モデルを使用する実技講習（13・14・15・19・20・26・27）は別途モデルの実費相当額をご負担いただきます。

プログラム名	タイトル	モデル料金
実技講習13・14・15	側頭骨モデルを使用した手術手技（内視鏡）	30,000円
実技講習19・20	緊急気道確保（動物モデルによる）	20,000円
実技講習26・27	内視鏡下鼻副鼻腔手術の基本手技	20,000円

2) 補聴器相談医講習

- ① 補聴器相談医委嘱（新規取得）のための講習：現地参加のみ、事前申込制（費用10,000円）
 - 1) 耳鼻咽喉科領域講習の単位は取得できません。
 - 2) 6時間の講義および2時間の実技講習全ての受講が必要です。
 - 3) 補聴器相談医委嘱（新規取得）のための講習の申込には11月22日（土）講義1～5、11月23日（日）講義6～8および実技講習1、2が含まれます。実技講習1、2は入れ替え制となります。
 - 4) 10月22日（水）正午までに受講申込みをされた方：事前に送付（ネームカードに付随）いたします。「講習受講票」をお持ちいただき、各会場・実務室前の受付にお越しください。
10月22日（水）正午以降に受講申込みをされた方：当日の受付方法について、会期前にメールにてご案内いたします。
 - 5) 実務講習開始15分前より受付を開始します。
 - 6) 当日のキャンセル待ちは行いませんのでご了承ください。
- ② 補聴器相談医更新のための講習：現地参加またはオンデマンド配信の視聴で受講可能
事前申込制（費用3時間4,000円、6時間8,000円）
補聴器相談医更新のための講習（オンデマンド配信）は2026年2月10日（火）正午まで登録を受付いたします。
 - 1) 耳鼻咽喉科領域講習の単位は取得できません。
 - 2) 規定コマ数未満の受講はできません。
 - ・3時間の講義を受講すると補聴器相談医1単位を取得できます。
 - ・6時間の講義を受講すると補聴器相談医2単位を取得できます。
 - 3) オンデマンド配信視聴の場合
オンデマンド配信で受講する方は、最後まで視聴（早送りは不可）し、設問に回答（正解するまで繰り返し回答可能）することで単位が取得できます。

講習	補聴器相談医委嘱（新規取得） のための講習 ①～③の受講が必須	補聴器相談医更新のための講習
①補聴器相談医講習 講義 1～5	・補聴器相談医：2 単位 ・現地参加のみ ・費用：10,000円	【①または②のどちらか受講の場合】 ・補聴器相談医：1 単位 ・費用：4,000円 【①＋②を受講の場合】 ・補聴器相談医：2 単位 ・費用：8,000円
②補聴器相談医講習 講義 6～8		
③補聴器相談医講習 実技講習 1・2		③の受講は不要

3) 日本臨床耳鼻咽喉科医会セッション（各 1 単位）：現地参加またはオンデマンド配信の視聴で受講可能

① 取得単位について

- ・「2. かかりつけ医機能報告について～耳鼻咽喉科医の観点から～」受講で、耳鼻咽喉科領域単位 1 単位
- ・「1. 医師に必要な ChatGPT の使い方ぜんぶ教えちゃいます」受講で、専門医共通講習（医療経済）1 単位を取得できます。

② オンデマンド配信視聴の場合

- ・「2. かかりつけ医機能報告について～耳鼻咽喉科医の観点から～」は最後まで視聴（早送りは不可）することで、耳鼻咽喉科領域単位 1 単位を取得できます。設問はありません。
- ・「1. 医師に必要な ChatGPT の使い方ぜんぶ教えちゃいます」は最後まで視聴（早送りは不可）し、設問に回答（正解するまで繰り返し回答可能）することで、専門医共通講習（医療倫理）1 単位が取得できます。

4) 専攻医

① 専攻医講習・専門医認定試験過去問解説講座

専門医を目指して研修中の専攻医および非専門医を対象に第 3 会場で専攻医講習を行います。

専門医も受講できますが、耳鼻咽喉科領域講習の単位は取得できません。

② 専攻医実技講習：現地参加のみ、事前申込制（無料）

1 日目、2 日目ともに専攻医を対象に専攻医実技講習を行います。専門医も受講できますが、耳鼻咽喉科領域講習の単位は取得できません。

10月22日（水）正午までに受講申込みをされた方：事前に送付（ネームカードに付随）いたします「講習受講票」をお持ちいただき、各会場・実務室前の受付にお越しください。

10月22日（水）正午以降に受講申込みをされた方：当日の受付方法について、会期前にメールにてご案内いたします。

Ⅱ 司会の方へ

講演開始15分前までに各会場内右手前方の「次司会席」へお越しください。到着されましたら到着の旨を進行係にお伝えください。

Ⅲ 講演の講師の方へ

講演開始30分前までに PC 受付にて発表データをご登録ください。

PC 受付：パシフィコ横浜 会議センター 1F エントランスホール

Ⅳ 会議一覧

1. 専門研修プログラム統括責任者・都道府県地方部会長合同会議
日時：11月22日（土） 16：05～17：35
会場：パシフィコ横浜 会議センター 実技室 5（315）
2. 第65回日耳鼻・関連する学会会議
日時：11月22日（土） 11：20～12：20
会場：パシフィコ横浜 会議センター 実技室 8（411+412）
3. 学会・医会連携会議
日時：11月23日（日） 12：00～13：00
会場：パシフィコ横浜 会議センター 4F 421
4. 令和7・8年度第17回日耳鼻理事会
日時：11月23日（日） 14：10～17：00
会場：パシフィコ横浜 会議センター 実技室 3（418）

Ⅴ 学術セミナー

1 日目にランチョンセミナー、スイーツセミナー

2 日目にランチョンセミナーを開催いたします。

※整理券の配布はありません。直接会場にお越しください。

Ⅵ クローク

パシフィコ横浜 会議センター 1F エントランスホール

Ⅶ インターネットサービス（Wi-Fi）

パシフィコ横浜では Wi-Fi アクセスポイントが設置されており、館内では自由に Wi-Fi サービスをご利用いただけます。

SSID：FREE-PACIFIO ※パスワードはありません。

Ⅷ その他

- 1) 会場の有料駐車場は収容台数に限りがありますので、お車でのご来場はお控えください。
- 2) 会期中、会場内での呼び出しはいたしません。
- 3) 会場内では携帯電話の電源を切っていただくか、マナーモードの設定をお願いいたします。
- 4) 会場内における許可のない録音、録画、撮影はご遠慮ください。